総選挙の結果について

コロナから命と暮らしを守る提案「4つのチェンジ」公約実現への決意

豊田民報
日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一-六-六
TEL…三四-四七七二
毎週一回発行

比例で豊田市から もとむら伸子衆院議員が再選

３１日投開票の衆議院選挙で、日本共産党を支持してくださった有権者のみなさん、支持者、後援会員、党員のみなさんに、心からの感謝を申し上げます。日本共産党は、小選挙区では、沖縄１区で赤嶺政賢候補の当選をかちとりましたが、比例代表選挙では、前回獲得した１１議席（得票４４０万票、得票率７・９％）から、９議席（得票４１６万票、得票率７・２６％）へと後退し、小選挙区と比例代表合わせて、１０議席となりました。

今回の総選挙で「野党共闘で政権交代を始めよう」と訴えて闘いました。自公政権の継続を許したのは残念ですが、最初のチャレンジとして大きな歴史的意義があったと確信するものです。この選挙での野党共闘は、共通政策、政権協力の合意という大義を掲げてたたかったものであり、一定の効果をあげたことは間違いありません。

同時に、野党共闘は今後の課題も残しました。特に、野党が力を合わせて共通政策、政権協力の合意という共闘の大義、魅力を伝えきれず、維新の会という補完勢力の伸長という事態を招いた一因にもなりました。日本の政治を変える道は共闘しかありません。わが党は、共闘の道を揺るがずに発展させるために引き続き力を尽くします。選挙戦でわが党は、コロナから命と暮らしを守る政策「４つのチェンジ」を訴えぬきました。今後の国政選挙でも、国民運動の面でも大いに重視し、取り組みを発展させ、公約実現のため、全力をあげて奮闘する決意です。

１日、豊田市駅前で選挙結果を報告する本多氏と根本市議

奮闘した本多のぶひろ氏

比例東海ブロックでは、豊田市のもとむら伸子議員が再選をかちとりました。愛知１１区では、本多のぶひろ候補が豊田市で前回の得票を大きく伸ばし、３万１８３２票を獲得しました。当選には至りませんでしたが、最高の得票と得票率を得る事ができました。開票日の翌朝、本多氏は豊田市駅前で、結果の報告と今後の取り組みついて宣伝しました。

（今週号は片面編集です。）

最終日のパレードで。本多氏と武田参院議員

11区での日本共産党の得票推移

2021年	比例		小選挙区（本多）		
	得票数	得票率	得票数	得票率	
豊田市	10,717	5.22%	31,832	15.90%	※稲武除く
みよし市	1,539	5.33%	4,956	17.70%	
11区計	12,256	5.23%	36,788	16.10%	

2017年	比例		小選挙区（本多）		
	得票数	得票率	得票数	得票率	
豊田市	9,041	4.11%	16,351	7.40%	※稲武除く
みよし市	1,299	4.42%	2,334	7.93%	
11区計	10,340	4.14%	18,685	7.46%	